

令和2年度計画事業(繰越事業含む)

(単位:円)

No.	事業名	計画事業内容	総事業費	交付金充当額	事業実績	事業効果	備考
1	感染拡大予防必需品購入事業	社会生活維持のために欠かせない活動主体に対して、マスク、消毒液等を確保し、配布する。	18,145,653	11,500,000	約40の施設で感染症対策を行い、マスク約18万枚、消毒液約850個購入し、配布した。	各施設での感染対策が図られた。	
2	子育て世帯応援商品券発行事業	臨時休校の長期化により経済的負担が増えた子育て世帯に対する支援として商品券を配布する。	16,369,385	15,500,000	商品券発行額 10,000円×1,570人=15,700,000円 商品券換金額 15,584,000円(換金率99.26%) 事務経費 印刷製本費、郵便料等 785,385円	子育て世帯への経済的支援が図られた。また、地域経済の活性化につながった。	
3	軽種馬市場活性化事業	軽種馬市場における町生産馬の販路拡大とPRをはかり、生産者の経営負担減、販売申込数の維持に努める。 i 購買者に対し、町特産品を配布する。 ii 生産者に対し、登録料、レントゲン撮影及び内視鏡検査実施経費を支援する。	22,530,000	22,000,000	i 46件の購買者に特産品を配布した。 ii 95件の事業者に支援した。	町特産品のPRの機会となった。また、軽種馬生産者の経済的負担軽減となった。	
4	中小企業等事業支援事業	町内の新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けている事業者に対して、事業の継続、雇用の維持を支援し、収束後に備えるために支援する。 i 商工業等を営む法人または個人で、前年同月比20%以上の減少のあった事業者に対し30万円を助成 ii 飲食店を営む事業者に対し、テランの作成及び折込に係る経費を10万円を上限に助成	67,217,680	41,000,000	i 223件の事業者に助成した。 ii 5件の事業者に助成した。	新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けている町内事業者に対して、経済的な支援を行うことで、事業継続・地域活動維持につながった。	
5	地域商品券発行事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域の中小企業等を支援するため、感染拡大防止のための取組ステージを十分踏まえた上で、プレミアム商品券を発行することで地域の消費喚起と地域経済の活性化を図る。 15,000円分の商品券を10,000円で販売する。	45,647,145	37,000,000	商品券発行額売上額 10,000円×8,492セット=84,920,000円 商品券換金額 126,681,000円(換金率99.4%) プレミアム率50% 8,492セットを販売 事務費3,420,145円	町内全域の飲食店等の事業者で使用され、地域経済の活性化につながった。	
6	乳製品消費拡大事業	農林水産省が取り組むプロジェクト「日本の牛乳を放う「プラスプロジェクト」」を支援し牛乳の消費の拡大につなげる事業と乳業メーカーを応援する。 また、休校により家にいる子供たちが成長に欠かせない栄養価の高い牛乳を飲むきっかけを目的とする。 i 小中高生に対し乳製品引換券を配布 ii 世帯に対し乳製品引換券を配布	12,742,426	12,700,000	i 小中高生の引き換え率は95.64% ii 世帯の引き換え率は88.32%	消費が低迷している牛乳の消費拡大につながったとともに、子どもたちが牛乳を飲む機会づくりにつながった。	
7	図書館パワーアップ事業	図書館の充実と、自宅への図書の配送を行い、自宅時間を有意義に過ごせることを目的とする。	11,652,543	11,000,000	図書購入費 10,878,415円 書誌情報作成委託料 581,328円 図書配送サービス郵送料 192,800円	図書の充実及び、配送サービスによる読書の機会の拡充につながった。	
8	漁業者経営維持対策事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により、影響を受けた漁業者等に対して、事業の継続を支援し、生産力の維持拡大を図り、経営の安定と再起の機を創出するための支援事業を実施する。 経営維持対策費(漁具購入及び操業に係る燃料費)の3分の2以内で30万円を限度とする	11,082,000	11,000,000	42件の事業者に支援した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者等に対する支援を行ったことにより、経済的負担の軽減につながった。	
9	肉用牛生産者経営支援給付金事業	和牛肉(肉用子牛)の市場価格が低下し生産者の経営状況が悪化しているため、給付金を支給し生産者の経営安定を図る。	9,420,000	9,400,000	40件の事業者に支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等に対する支援を行ったことにより、経済的負担の軽減につながった。	
10	とねっこ館運動器具更新事業	3密に配慮したうえで、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛生活中の体力低下の改善、健康増進を目的とする。	6,736,200	6,000,000	ラポートを2台導入した。	とねっこ館にラポートを設置することにより、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛生活中の利用者の体力低下の改善につながった。	繰越事業
11	庁舎リモート化事業	門別・日高地区間(60km間)での職員移動を減らすことにより感染拡大防止を図る。 窓口間でのテレビ会議及び本庁・総合支所間の会議室間のテレビ会議システムの導入	5,797,000	5,500,000	ノートPC10台、電子ホワイトボード3台等購入した。	本庁・支所間のテレビ会議の使用や各種職員研修の際にノートPCを活用し、感染予防が図られた。また、移動に係る時間の削減など事務効率につながった。	
12	新生児対象定額給付金事業	感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため実施された国の定額給付金事業と同様の観点から、基準日より後に出生した子どもを持つ保護者に対して支援する。 国の定額給付金事業の基準日(4/27)の後に出生した子どもを持つ保護者に対し、10万円を支給する。	5,000,000	5,000,000	国の定額給付事業の基準日の後に出生した子どもを持つ保護者に対して支援した。 100,000円×50名	新生児を対象とした定額給付金を支給することで、保護者の経済的負担軽減につながった。	
13	避難所等通信環境整備事業	避難所や本庁舎などの通信環境を整備し、災害時の避難者の情報収集や情報伝達に役立てることで避難環境の向上を図り、さらに防災拠点の強化を目指す。	37,136,000	36,000,000	町内各施設でのWifi環境を整備した。 本庁舎、総合支所、門別総合市民センター等委託料 37,015,000円 工事請負費 121,000円	避難所を含めた町内各施設でWifi環境を整備することで、災害時の情報発信及び町民の情報収集に役立つ環境整備ができた。	繰越事業
14	感染症対策品保管庫整備事業	感染症対策品を保管するための保管庫を整備し一定数を備蓄できるようにすることで、災害などの非常時においても安定した物品の供給を可能とする。	23,028,016	20,000,000	富川東防災広場に感染症対策品保管庫を整備した。 役務費 20,416円 委託料 1,848,000円 工事請負費 21,159,600円	保管庫を整備することで感染症対策品を一定数整備することが可能となり、災害時などでも安定供給が可能となった。	繰越事業
15	高度無線環境整備推進事業	町内全域への光ファイバ網の整備。 光ファイバ網の整備により高速・超高速通信による新しい生活スタイルの実現により、光回線を活用したオンラインによる学校教育や在宅学習、在宅ワークが可能となる。	565,131,000	329,089,000	町内全域への光ファイバ網を整備した。 負担金 565,131,000円	町内全域への光ファイバ網整備により学校教育現場や各家庭での通信環境が整備された。	繰越事業

令和2年度計画事業(繰越事業含む)

(単位:円)

No.	事業名	計画事業内容	総事業費	交付金充当額	事業実績	事業効果	備考
16	光ブロードバンド加入促進事業	光ブロードバンドサービスへの加入促進を図る。学習塾等リモートでの実施、学校の臨時休業等の期間中もオンラインでの学習が可能となり、切れ目のない学習環境を提供することができる。また、積極的な在宅勤務等の導入を促進し、多様な働き方を支援することができる。	954,000	400,000	新たに光ブロードバンドに加入した町民等に補助した。 10,000円×66件=660,000円 事務経費 294,000円	町内全域への光回線整備につながった。なお、No.15高度無線環境整備推進事業と連携した事業となっており、この事業がR4まで繰越したことによりR4からは町単独事業として実施している。	繰越事業
17	タブレット端末購入事業	多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現のためタブレット端末を整備する。	25,551,000	20,473,000	小中学校に857台のタブレット端末を整備。	児童・生徒が1人1台のタブレット端末を使用できる環境を整備することにより、教育現場でのICT環境整備につながった。	
18	学校ICT環境整備事業	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善センターサーバー及びフィリタングサーバー更新	10,315,943	10,000,000	センターサーバー及びフィリタングサーバー購入。 通信運搬費 377,663円 備品購入費 9,938,280円	各学校でのICT環境整備につながった。	
19	公立学校情報機器整備費補助金(GiGAスクールサポーター配置事業)	GiGAスクール構想の加速による学びの保障。急速な学校ICT化を進める自治体等を支援するため、学校におけるICT環境整備の設計や使用マニュアル(ルール)の作成などを行うICT技術者の学校への配置経費を支援する。	3,190,000	800,000	各学校にGiGAスクールサポーターを派遣。 スクールサポーター事業委託料	教員が専門知識を有する講師による授業支援や教員研修を受ける環境を作ることによりICT機器を使用した授業への支援体制確保につながった。	
20	公立学校情報機器整備費補助金(学校からの遠隔学習機能の強化事業)	子供たちの学びを保障できるよう、自然災害の発生等による学校の臨時休業等の緊急時において、学校と児童生徒とのやりとりが円滑にできる環境が必要。このため、同時双方向で教師と児童生徒とのやりとりを円滑に行うために、遠隔学習に対応した設備を整備する。	362,560	200,000	webカメラ(32台)を整備。	各学校で遠隔学習機能の強化につながった。	
21	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)	各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするための新しい試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する。学校における感染症対策等支援、子どもたちの学習保障支援	20,553,441	9,000,000	マスク8,400枚ほか消毒液等を購入。	学校での感染症対策が図られた。	
22	高校寮入寮生感染防止対策事業	感染が拡大している道外の状況を鑑み、道外出身の入寮生について、夏休みに帰省せず寮に留めることにより、入寮生自身の感染防止と保護者の不安解消、更には高校及び地域への感染症の持ち込みを防ぐことを目的とする。 i 夏休み期間中における金銭・調理員等の寮への配置と、入寮生への食事提供に要する経費。 ii 寮内換気のための空気洗浄浄機の設置 iii 浴室用濾過器の整備を行うことで、寮外からの感染症の持ち込みを防ぎ衛生面での不安の解消、さらには地元業者への工事発注による地域経済の活性化につなげる。	5,132,752	4,000,000	i 日高高校寮の夏休み休業期間に必要な食事の提供を行った。 ii 空気洗浄機(5台)を設置した。 iii 日高高校寮男子棟浴室濾過器を整備し、入寮生の感染リスクの低減を図った。 i 管理運営委託料 627,000円 膳料費 154,152円 ii 備品購入費 171,600円 iii 工事請負費 4,180,000円	道外出身の入寮生について、夏休み期間に帰省せず寮で生活することにより、感染症の持ち込み及び感染拡大を防ぐことにつながった。	
23	遊具整備事業	子どもたちの心身の健康のため、3密に配慮したうえで、全町的に遊具等を整備し屋外での遊びの場を充実させる。	68,326,720	61,000,000	町内の公園等の遊具を整備した。 冒險広場、ちびっこ広場、小学校、保育所等 修繕料 2,739,220円 委託料 4,279,000円 工事請負費 37,741,000円 備品購入費 23,567,500円	町内の公園等の遊具を整備したことにより、密にならない屋外の環境で子どもたちが体を動かす機会が増加につながった。	繰越事業
24	公共的空間安全・安心確保事業	公共空間での感染機会を削減するため換気を主とした対策を実施する。 網戸設置・空気洗浄機等購入・暖房設備	36,875,298	30,000,000	町内各地設で網戸設置、空気洗浄機等の購入、暖房設備の整備。	換気を目的とした網戸の設置や換気による室温低下対策としての暖房機器の整備などを実施することにより屋内施設での感染症対策が図られた。	繰越事業
25	病院事業会計繰出金	公共空間での感染機会を削減するため換気を主とした対策を実施する。 病院事業会計に繰出し、愛生苑冷房機整備に要する費用を交付対象経費とする。	1,645,600	1,600,000	愛生苑の冷房機器を整備し感染対策を図るため、病院事業会計に繰出した。	介護保険施設である愛生苑の冷房設備を整備することにより、入所者及び職員の感染対策が図られた。	
26	消防組合負担金	消防活動における感染対策として必要な備品等を整備する。 日高西部消防組合に負担金を支出し、感染症対策として必要な資機材購入に要する費用を交付対象経費とする。	9,378,000	8,225,000	感染症対策物品、資機材購入に要する経費に充当するため、消防組合に負担金を支出した。 除細動器、オゾン除菌庫等	物品等の整備により感染症対策が図られた。	繰越事業
27	庁内事務オンライン化に係るシステム整備事業	庁舎内での新型コロナウイルス感染リスクの低減を目指すため、住民及び職員間での接触を強力減らす取り組みが必要であり、行政手続きの電子化・効率化の促進を図るとともに、テレワーク環境整備を構築する。	59,376,680	47,000,000	オンライン化のためパソコン、Webカメラなどを整備した。 委託料 20,705,850円 備品購入費 38,670,830円	パソコンの整備等により、庁舎内のシステム整備につながった。	繰越事業
28	保育士等慰労金支給事業	新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高い環境において、集団感染の防止に努め、相当程度心身に負担がかかる中、継続して業務に従事している保育士等の職員に対し、慰労金を支給する。	6,850,000	6,000,000	保育士等137名に慰労金を支出した。 50,000円×137名=6,850,000円	感染リスクの高い保育等の現場に従事している職員へ慰労金を支給することにより、負担軽減への一助となった。	繰越事業
29	地域公共交通支援事業	コロナ禍においてバス路線を維持するためバス事業者に対し支援する。	3,401,000	3,000,000	バス事業者1者に補助金を支出した。	新型コロナウイルス感染症により乗客数の低下など経済的な影響を受けているバス事業者に対して、経済的な支援を行うことで、事業継続・地域活動維持につながった。	繰越事業

令和2年度計画事業(繰越事業含む)

(単位:円)

No.	事業名	計画事業内容	総事業費	交付金充当額	事業実績	事業効果	備考
30	飲食店応援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減が生じている飲食店を支援する。 飲食店応援券発行事業 飲食店で使用できる食事券を全町民に配布する。	21,221,000	21,000,000	食事券発行額 2,000円×11,541人=23,082,000円 食事券換金額 21,221,000円(換金率91.93%) 商品券発行額 6,000円×11,541人=69,246,000円 商品券換金額 67,892,000円(換金率98.04%) 事務経費 消耗品費、印刷製本費等 3,950,208円	新型コロナウイルス感染症の影響により売上げの落ち込んでいる町内飲食店を支援するため食事券を発行することで売上げ増加につながった。また、商品券の使用による地域全体の経済活動の活性化につながった。 なお、事務経費及び事務の効率化のため2つの事業を同時に実施した。	繰越事業
31	地域応援券発行事業	新型コロナウイルス感染症の影響による消費の落ち込みに対応するため、全町民を対象に商品券を発行し、地域の経済活動の活性化につなげる。 町民一人あたり6,000円を配布する。	71,842,208	71,000,000			繰越事業
		合計	1,202,611,250	866,387,000			